

福岡市文化賞功績調書

*部 門		美術（現代美術）	
氏名		生年	
さいとう ひでさぶろう 齋藤 秀三郎		大正11年（103歳）	
職 業	画家		
<p>福岡市在住。（旧制）九州大学農学部水産学科卒業。</p> <p>活動初期には「九州派」や「グループ西日本」に所属し、前衛的な作品を発表。社会的な批評を題材に、平面、立体、インスタレーションを問わず、文明の発展に対する不安を、「キャベツ」をモチーフとした銅版画等で表現する作品で知られる。</p> <p>常に新しい表現に挑み続け、いまなお積極的に作品を制作・発表し、現在も、福岡だけでなく東京でも個展を開催しているほか、世代の離れた地元作家が開催する展覧会やイベントなどに積極的に参加し、幅広い世代の芸術家たちと交流を続けるなど、美術分野の普及・発展に尽力している。</p> <p>【主な作品】</p> <p>平成17年 『キャベツ0508』</p> <p>平成20年 『曝されたもの』</p> <p>平成24年 『魂（クラスメート）』</p>			